

あんしんダイヤル

消防広報

NO. 25

119

京都中部しょうぼう

編集・発行／京都中部広域消防組合

〒621-0851 亀岡市荒塚町1丁目9番1号

TEL.0771-22-9581 FAX.0771-23-4535

平成18年11月1日発行

災害出動状況(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

火災 27件 救急 2,589件 救助 38件 その他 124件



新たな拠点から走り出す「安全・安心を消防から」

園部消防署日吉出張所が南丹市日吉町胡麻地内の新庁舎で、平成18年8月1日から業務を開始し、新たな拠点としてスタートしました。

日吉出張所の庁舎には、山岳救助のためのロッククライミング（岩登り）訓練ができる「クライミングウォール」が設置されています。



フォトレポート

PHOTOREPORT

地域住民を対象とした防火・防災の活動の一部を紹介します。

自主防災の活動、救急講習会などの自己技能向上、事業所の訓練などさまざまな事業に取り組みました。

月	事業名	対象（場所）
4月	防火座談会	亀岡市宮前町神前地区・亀岡市余部町ふれあいサロン・亀岡市・田野町鹿谷区老人クラブ・亀岡市篠町篠八幡クラブ・亀岡市大井町老人クラブ 京丹波町猪鼻区
	普通救命講習会	日吉ダムマラソン大会警備員
	訓練検証	ヤマナカヒューテック(株)
	移動消防署	南丹市日吉こつぶっこ広場
	救急警備	南丹市日吉ダムマラソン大会



5月	消防訓練	ヴィラ多国山・須知幼稚園 京都縦貫自動車道
	一般救急講習会	亀岡市西つつじヶ丘体育振興会
	普通救命講習会	各高等学校・美山町森林組合 名糖運輸(株) 亀岡自衛消防隊連絡協議会 船井青年会議所会員
	移動消防署	丹波ちびっこまつり・光秀まつり 亀岡市篠町見晴3丁目 園部龍神まつり
	初期消火訓練	亀岡市篠町雲宮区
救急警備	2006 美山サイクルロードレース	



6月	消防訓練	竹野小学校・宮島小学校 陽生苑・丹波養護学校 シミズふないの里
	危険物火災想定訓練	日本特殊研砥(株) ナイテック工業(株)
	庁舎見学	ひかり幼稚園 亀岡あゆみ保育園
	着衣泳法講習会	詳徳小学校
	水防訓練	南丹市八木町南地区



防火座談会	南丹市八木町本郷区
防火七夕会	亀岡消防署・園部消防署
一般救急講習会	各保育所・各小学校・南丹市京丹波町保健養護担当教諭・グランベール京都ゴルフ倶楽部・丹波養護学校
普通救命講習会	宗教学人大本・亀岡市千代川町自主防災会・京都学園大学
移動消防署	亀岡市篠町馬堀サントウン区 亀岡市畑野町千ヶ畑区 亀岡市西つつじヶ丘自主防災会 亀岡市宮前町宮川区
起震車体験	亀岡市大井町土田子供会 ロームメカテック(株)



7月	普通救命講習会	各保育所・各小学校・各高等学校 丹波桜梅園・南丹市日吉町胡麻地区 JR西日本京都支社・亀岡市民プール監視員・丹波自然運動公園プール監視員 グリーンランドみずほ
	防火座談会	南丹市八木町北地区・亀岡市本梅町東加舎区・亀岡市下矢田町東法楽寺区 南丹市美山町知井地区生きがい活動支援通所者
	防火研修会	亀岡市上下水道部
	避難訓練検証	アルプラザ亀岡店 みずのき寮 美山こぶしの里
	防災訓練・消火訓練	亀岡市上矢田町自主防災会 亀岡市千代川町今津地区 丹波養護学校亀岡分校 亀岡市追分町自治会
	住宅用火災警報器研修会	はぎの里
	亀岡市高齢者さわやか教室	ガレリアかめおか
	移動消防署	南丹市八木町刑部区
	着衣泳法講習会	摩気小学校・下山小学校・西本梅小学校 吉富小学校



	防火教室	中部保育所・東本梅保育所・川東保育所・第六保育所・亀岡あゆみ保育園
		第2亀岡幼稚園



8月	防火座談会	亀岡市篠町見晴山水会老人クラブ 京丹波町猪鼻区しあわせ会
	防火教室	亀岡市西つつじヶ丘自治会 保津保育所・くわの実保育園 別院保育所・千代川体操クラブ
	高齢者一人暮らし宅防火訪問 京丹波町内	
	訓練検証	京麩半兵衛(株)美山工場 (株)マイカル亀岡サティ・長老苑
	防災訓練	亀岡市曾我部町重利山下区
	普通救命講習会	各幼稚園・各小学校・各中学校 亀岡市東本梅町自治会・丹波養護学校 亀岡市篠町雲宮区・亀岡市議会議員



9月	防災訓練	平成18年度亀岡市総合防災訓練
	救急警備	第22回全京都車イス駅伝競走大会
	消火訓練大会	亀岡自衛消防隊連絡協議会



一特集一 「あらゆる災害に挑む消防」



交通事故現場で油圧器具により、事故車両の天井部分を切断し、負傷者を救出中の救助隊

消防は、「消防自動車で火事を消す。」というイメージがありますが、実際は多種多様の災害に対応し、さまざまな車両や機械器具を活用して消防活動しています。

そこで、あらゆる災害から住民の皆さんを守るため、訓練を重ねた隊員の消防活動や積載している特殊な器具を紹介します。

特殊な器具を使用する代表的な現場に交通事故現場がありますが、車両内に閉じ込められた人を救助したり、車両の下敷きになっている負傷者を救助するために、油圧や空気圧を使用する器具を活用しています。

住宅用火災警報器を設置しましょう。

特殊災害と消防特殊器具



「リフトバック」

空気圧による救助器具で、自動車事故、列車事故、航空機事故及び地震等の災害時に重量物を持ち上げたり、わずかな隙間を広げたりすることができます。

「ストライカー」

携行用のコンクリート破壊機で、先端部分を交換すると、自動車ドア開放等の多様な作業をすることができます。



「スプレッター」

油圧式の救助器具で、交通事故車両のドアを開けたり、専用チェーンを活用してハンドルを引上げ、救出することができます。



「コンピツール」

バッテリー内蔵の小型軽量救助器具で、救助隊より先に到着する救急自動車に積載し、隙間を広げたり、切断したりすることができます。

「マンホール救助器具」

マンホール等のたて穴の中から地上へ救出する器具です。

特徴は、マンホールの真上に支点を設けて救助隊員の進入や負傷者の救出にハンドルウィンチを活用し、救出することができます。



「携帯型熱画像直視装置」

濃煙や暗黒の中の視界不良時に、この装置から照射される赤外線により対象物の温度差を感知して行方不明者や火元を探し出すことができます。



「耐熱服」

特殊な繊維でできた消防隊の活動服で、危険物など高温となる火災現場に近づき、消火活動することができます。



「地中音響探知機」

地震現場などのガレキや土砂に閉じ込められた要救助者の声（空気を伝わる振動）や反応音（壁を伝わる振動）を測定し、行方不明者を見つけ出すことができます。



インフォメーション

◆119番からのお願い

携帯電話は国民の2人に1人が持っているというほど普及しており、携帯電話からの119番通報が急速に増加しています。

今年に入ってから、携帯電話による通報件数は1,376件（8月末時点）となっており、全通報件数（5,524件）の約3割を占めています。

そこで、携帯電話から119番通報をする際は、次のことに注意してください。

- 運転中は、安全な場所に停車してから通報してください。
- どの市・町からかけているか、所在・目標を確かめてから通報しましょう（近くに見えている建物、標識等を確認してください。）
- 近くに参加電話や公衆電話があれば、その電話を利用しましょう。
- 緊急車が到着するまでは電源を切らず、その場を動かないでください。
- 携帯電話番号は、必ず伝えてください。



◆AEDに関するQ&A

Q. 誤って電気ショックを与えてしまう危険性は、ないのですか？

A. AEDは、その患者に電気ショックが必要かどうかを自動的に判断しますので、必要と判断されない限り、ショックボタンを押しても作動しません。

Q. AEDを使用するのに、資格は必要ですか？

A. 資格は不要で、基本的に講習を受ける義務はありません。しかし「尊い命」を救うため、AEDを含めた救命講習を受講していただき、安全なAEDの使用方法和心肺蘇生法を習得することが強く望まれます。

Q. 子供にも使用することは、可能ですか？

A. 現在のところ、幼児（8歳未満・体重25kg未満）の救急処置には使用できません。8歳以上の子供（体重25kg以上）に対しては、標準的は操作手順で使用することができます。



	消防本部	総務課	22-9580	消防課	22-9581
		消防指令室	22-9582		
防火防災に関する ことなら何でも ご相談ください	亀岡消防署	予防課庶務係	22-0119	予防課予防係	22-9583
		警防課	22-9584	東分署	23-0119
	園部消防署	予防課・警防課	62-0119	八木出張所	42-3119
		日吉出張所	74-0119	美山出張所	75-0119
		丹波出張所	82-0119		

住宅用火災警報器の悪質訪問販売に御注意ください！